

令和8年1月も下旬に入りました。昔から1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるよう、時間が経つのは早いものです。

私は、3学期最初のHRで、次のことを話しました。「いよいよ4月から高校生活は後半に入る。この1年は、卒業後の自分の将来について深く考える大切な時間になる。遅くまで起きてゲームなどにはまり、昼頃まで寝て、何もせずに、親の支えで毎日を送っている人は、これから的人生を深く考えなければ生きていけないかもしれません。それは、人も生きもの。自然に考えれば、親が先に亡くなる。いつまでも親を頼りにして生きることはできない。私は、働いたことがない人、一、二度アルバイトしたけどすぐに辞めた人には、ぜひ、何回もチャレンジして持続的に就労してほしいと思う。その機会を通して、自分をみつめ、社会に適応する力を養ってほしい。社会は決して甘くはない。しかし、一生懸命に努力すれば、自分に合った就労場所がきっと見つかるはずだ。前向きに貪欲に挑戦し続ける1年にしてほしい。諸君の輝く成長を楽しみにしたい。」

### 【2学期終業式　満行校長先生のお話から】

「人との関わりで言葉は非常に大切です。よくまちがったり、悪い意味に理解したりしがちな言葉をいくつか挙げてみましょう。」

#### ① 「情けは人の為ならず」

正しい意味は、人に情けをかけば巡り巡って自分に返ってくる。これを、人に情けをかけばその人のためにならない、と誤って捉える。



#### ② 「いい加減」

良い意味では、塩気がいい加減ですね。お湯の加減がちょうどいいですね、悪い意味では、掃除がいい加減だ、〇〇さんはいい加減な人だ、などと使う。

#### ③ 「クソ」

最上級の否定として、〇〇はクソだ、と使うが、とても面白いことをクソ面白い、とも言う。

言葉に励まされたり、救われたりすることもありますが、傷つけたり、最悪命を奪ったりすることもあります。言葉には魂（言霊）が宿ると言われます。周囲には、「勇気づける」「前向きな気持ちにさせる」言葉を使うよう心がけましょう。

### 【3学期始業式　朝長教頭先生のお話から】

「みなさんは、テトリスというゲームをしていますか？4つのブロックを組み合わせていくゲームです。みなさんによると、1年で学ぶこと、2年、3年、4年で学ぶことがあります。学んだそれらを組み合わせて、一つの形にすることができます。それが、今後の人生を切り開く力になるのです。今年1年がどうなるかみんなの活躍を楽しみに見ています。」



始業式に引き続き、3学期の学級役員任命式、新生徒会役員任命式も行われました。

中島みゆきさんの曲「糸」を思い出しました。生徒会役員が縦の糸、学級役員が横の糸、とすれば、それらが織りなす布は、大高定時をきっと楽しく輝く学校にする力になることでしょう。